

- 問1 日本の歴史における飢饉や社会不安に関連した出来事について、古いものから順に正しく並べたものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 天明の飢饉による社会混乱での田沼意次の失脚 → シベリア出兵を背景とした米騒動 → 天保の飢饉下での大塩平八郎の乱 | 2. 天明の飢饉による社会混乱での田沼意次の失脚 → 天保の飢饉下での大塩平八郎の乱 → シベリア出兵を背景とした米騒動 | 3. 天保の飢饉下での大塩平八郎の乱 → 天明の飢饉による社会混乱での田沼意次の失脚 → シベリア出兵を背景とした米騒動 | 4. シベリア出兵を背景とした米騒動 → 天明の飢饉による社会混乱での田沼意次の失脚 → 天保の飢饉下での大塩平八郎の乱 |
|--|--|--|--|
- 問2 大正時代、護憲運動や普通選挙運動が高まるなかで、吉野作造が提唱した思想は何と呼ばれますか。大日本帝国憲法のもとで、主権の所在を問わずに民衆の意向を政治に反映させることを重視した考え方を選びなさい。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|
| 1. 天皇機関説 | 2. 自由民権運動 | 3. 民本主義 | 4. 社会主義 |
|----------|-----------|---------|---------|
- 問3 第一次世界大戦後、中国で五四運動が起こる直接のきっかけとなった、パリ講和会議での決定事項として正しいものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 朝鮮での三・一独立運動に呼応し、中国と朝鮮の共同闘争が合意されたこと。 | 2. ドイツが保有していた山東省の権益を、日本が継承することが認められたこと。 | 3. 孫文を中心とする臨時政府が国際的に承認され、清の存続が認められなかったこと。 | 4. 日本が中国に対して突きつけた二十一か条の要求が、すべて無効と判断されたこと。 |
|--|---|---|---|
- 問4 大正時代から昭和初期にかけて見られた、生活文化の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 都市部を中心に、鉄道の沿線開発やデパートの進出によって洋風の生活が一般に広まった。 | 2. 地方の農村部を起点として、江戸時代から続く伝統的な暮らしを徹底する運動が全国に波及した。 | 3. 武士の精神を重んじるために、日常生活における洋服の着用が公的に禁止された。 | 4. 鎖国体制の影響が残っていたため、海外の文化を排除し和風の建築のみが奨励された。 |
|--|---|--|--|
- 問5 1918年に発生した米騒動の影響で寺内正毅内閣が総辞職した後、日本で初めてとなる本格的な政党内閣を組織した人物は誰ですか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|--------|---------|
| 1. 原敬 | 2. 板垣退助 | 3. 桂太郎 | 4. 大隈重信 |
|-------|---------|--------|---------|
- 問6 1917年のロシア革命を受け、日本政府が決定したシベリア出兵は、当時の日本国内の社会・経済に大きな影響を与えました。この出来事をきっかけとして発生し、寺内正毅内閣が退陣する原因となった事象を選んでください。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 米騒動 | 2. 日比谷焼打ち事件 | 3. 地租改正反対一揆 | 4. 足尾銅山鉋毒事件 |
|--------|-------------|-------------|-------------|
- 問7 1914年に第一次世界大戦が勃発した際、日本が参戦の根拠とした同盟の名称と、参戦した陣営の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|------------------|
| 1. 日英同盟 — 同盟国 | 2. 日英同盟 — 連合国 | 3. 日露協約 — 連合国 | 4. 日独伊三国同盟 — 枢軸国 |
|---------------|---------------|---------------|------------------|
- 問8 吉野作造が唱えた「民本主義」の説明として、大正デモクラシーの時代背景や制度の仕組みを踏まえた記述として最も適切なものはどれですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 足尾銅山鉋毒事件などの社会問題解決のため、天皇に直接訴えることの重要性を強調した。 | 2. 天皇主権を否定し、国家の主権は国民にあるとする民主主義を全面的に打ち出した。 | 3. 大日本帝国憲法と矛盾しないよう、主権の所在は問わずに民衆の意欲を政治に反映させることを説いた。 | 4. 板垣退助らの流れを汲み、国会の開設よりも先に言論の自由を最優先することを目的とした。 |
|--|---|--|---|
- 問9 大正デモクラシーの時期である1925年に、普通選挙法の制定とほぼ同時に治安維持法が制定された理由として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 納税額による選挙権の制限を廃止して有権者を大幅に拡大する一方で、社会主義思想の広がりや現行体制への批判運動を強力に抑え込むため。 | 2. 原敬内閣の指導のもとで軍部の暴走を未然に防ぎ、外国との平和外交を推進するための法的な根拠を確立するため。 | 3. 女性参政権の要求運動を法的に保護し、性別に関わらず誰もが政治に参加できる社会を早期に実現するため。 | 4. 伊藤博文が制定に関わった大日本帝国憲法を全廃し、君主制から完全な共和制へと移行する民衆運動を加速させるため。 |
|---|---|--|---|
- 問10 1918年、政府がシベリア出兵を決定したことを背景に、商人たちが将来の需要増加を見越して米を買い占めたため、米の価格が急騰しました。これに反発した富山県の漁村の女性たちの行動から始まり、全国的な暴動へと発展した出来事を何といいますか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|-------------|-------------|
| 1. 米騒動 | 2. 秩父事件 | 3. 治安維持法の制定 | 4. 足尾銅山鉋毒事件 |
|--------|---------|-------------|-------------|
- 問11 1912年に発足した第3次桂太郎内閣に対し、長州藩などの有力者が政治の実権を握り続ける「藩閥政治」を批判し、憲法に基づいた政治を求める運動が全国的に激化しました。この運動を何と呼びますか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|--------------|-----------|-----------|
| 1. 国家総動員運動 | 2. 第一次憲政擁護運動 | 3. 自由民権運動 | 4. 普通選挙運動 |
|------------|--------------|-----------|-----------|
- 問12 1918年に成立した原敬内閣は、日本で初めての「本格的な政党内閣」と呼ばれます。当時の内閣の構成について、その特徴を正しく説明しているものはどれか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 陸軍・海軍・外務大臣以外のすべての閣僚に、衆議院の第一党である立憲政友会のメンバーを起用した。 | 2. 首相である原敬が「平民」であったため、すべての閣僚も爵位を持たない衆議院議員のみで構成した。 | 3. 天皇の任命によらず、衆議院における多数決の結果に基づいて全ての閣僚を立憲政友会から選出した。 | 4. 衆議院における立憲政友会の議席が過半数に達したため、軍部や官僚の影響を完全に排除して組織された。 |
|--|---|---|---|
- 問13 国家の全資源を戦争に投入する「総力戦」となった第一次世界大戦は、世界に甚大な被害をもたらしました。この大戦後の国際情勢や各国の動向について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. ロシア革命の影響により、日本は大戦中に不平等条約の改正をすべて完了させたため、国際連盟への加盟を辞退した。 | 2. アメリカの独立宣言の影響を受けて国際的な平和組織が作られ、アフリカではこの時期にすべての植民地が独立を果たした。 | 3. 冷戦の終結を受けて、二度と大規模な戦争を起こさないために国際連合が発足し、ドイツでは東西の壁が取り壊された。 | 4. 世界平和の維持と国際協力を目的として国際連盟が発足し、敗戦後のドイツでは生存権を認める民主的なワイマール憲法が制定された。 |
|--|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 天明の飢饉による社会混乱での田沼意次の失脚 → 天保の飢饉下での大塩平八郎の乱 → シベリア出兵を背景とした米騒動	まず18世紀後半、天明の飢饉による一揆や打ちこわしの頻発により田沼意次が老中を退きました。次に19世紀前半の1837年、天保の飢饉に際して大塩平八郎の乱が起こりました。最後に20世紀初頭（1918年）、シベリア出兵を見越した米の買い占めにより米騒動が全国に広がりました。これらは江戸時代中期、江戸時代後期、大正時代という時系列になります。
問2	答え 3 民本主義	吉野作造が唱えたこの思想は、大正デモクラシーの理論的な支柱となりました。天皇主権を定める大日本帝国憲法の枠組みを維持しながらも、政治の目的を民衆の利福（利益と幸福）に置き、政策決定において民衆の意向を尊重することを主張しました。これにより、普通選挙の実現などを求める運動を後押ししました。
問3	答え 2 ドイツが保有していた山東省の権益を、日本が継承することが認められたこと。	1919年のパリ講和会議では、中国が求めている二十一か条の要求の撤回やドイツ権益の返還が受け入れられず、逆に日本の山東省における権益継承が認められました。これに反発した北京の学生たちが、1919年5月4日に抗議デモを行ったことが運動の始まりです。同時期に朝鮮半島で起こった三・一独立運動とともに、東アジアにおける民族自決の動きを象徴する出来事です。
問4	答え 1 都市部を中心に、鉄道の沿線開発やデパートの進出によって洋風の生活が一般に広まった。	都市化が進む中で、電車の利用や百貨店での買い物一般的になり、都市住民の生活は急速に洋風化しました。これには新聞や雑誌、ラジオといった大衆メディアの発達も大きく貢献しており、新しい流行やライフスタイルが人々に共有される基盤となりました。一方、こうした変化は都市部が中心であり、農村部では依然として伝統的な生活様式が色濃く残っていました。
問5	答え 1 原敬	米騒動という民衆の抗議行動によって内閣が倒れたことを受け、衆議院の第一党である立憲政友会の総裁が首相に選ばれました。陸軍・海軍・外務の大臣を除き、閣僚のほとんどを政友会で組織したため、本格的な政党政治の始まりとして歴史的に重視されています。
問6	答え 1 米騒動	シベリア出兵が決定されると、戦地での食糧需要を見込んだ商人たちが米を買い占めたため、米の価格が急騰しました。これに苦しんだ富山県の主婦たちが米の廉売を求めて立ち上がった行動が全国に広がり、「米騒動」となりました。政府はこの騒動を軍隊で鎮圧しましたが、国民の強い批判を浴び、当時の寺内正毅内閣は総辞職に追い込まれました。
問7	答え 2 日英同盟 ― 連合国	日本は1902年に締結された日英同盟を理由として、イギリス側の陣営である「連合国」の一員として第一次世界大戦に参戦しました。対戦相手のドイツなどは「同盟国」と呼ばれますが、日本が加わったのはその反対の陣営です。また、「枢軸国」という名称は第二次世界大戦におけるドイツ・イタリア・日本などの陣営を指す言葉であり、第一次世界大戦時には存在しません。
問8	答え 3 大日本帝国憲法と矛盾しないよう、主権の所在は問わずに民衆の意欲を政治に反映させることを説いた。	吉野作造は、西洋の「デモクラシー」を日本に導入する際、天皇主権を定めた当時の憲法との衝突を避ける必要がありました。そのため、主権が誰にあるかという「主権論」ではなく、政治の目的を民衆に置くという「運用論」として民本主義を提唱しました。この理論があったからこそ、憲法の枠内での民主的な改革（大正デモクラシー）が広く支持されたのです。
問9	答え 1 納税額による選挙権の制限を廃止して有権者を大幅に拡大する一方で、社会主義思想の広がりや現行体制への批判運動を強力に抑え込むため。	普通選挙法によって納税額による制限がなくなり、満25歳以上の男子へ有権者が大幅に拡大しました。これにより社会主義運動や労働運動が勢いを増すことを恐れた政府は、国体の変革や私有財産制度の否定を目指す結社を取り締まる治安維持法を同時に制定しました。
問10	答え 1 米騒動	シベリア出兵という軍事行動に際し、軍用米の需要が高まると予想した商人たちが売り惜しみや買い占めを行ったことが直接の原因です。この騒動は全国に波及し、当時の寺内正毅内閣が退陣に追い込まれるなど、日本の政治や社会に大きな影響を与えました。
問11	答え 2 第一次憲政擁護運動	明治時代から続く、薩摩・長州藩出身者を中心とした「藩閥（はんぼつ）」による政治への不満から起こった運動です。「閥族打破・憲政擁護」をスローガンに掲げ、尾崎行雄や犬養毅らが中心となって国民に呼びかけました。この運動の盛り上がりにより、桂内閣はわずか50日余りで退陣に追い込まれました。
問12	答え 1 陸軍・海軍・外務大臣以外のすべての閣僚に、衆議院の第一党である立憲政友会のメンバーを起用した。	大正デモクラシーの流れの中で成立した原敬内閣は、衆議院の第一党（立憲政友会）が内閣を組織した点で画期的でした。当時の閣僚名簿を確認すると、専門性の高い外務大臣、陸軍大臣、海軍大臣の3ポスト以外は、すべて衆議院の議席を持つ与党議員で占められていました。これは、それまでの藩閥政治や官僚主導の政治から、政党が政治責任を負う仕組みへの大きな転換点となりました。ただし、すべての閣僚が衆議院議員だったわけではなく、軍部大臣などが残っていた点が重要です。
問13	答え 4 世界平和の維持と国際協力を目的として国際連盟が発足し、敗戦後のドイツでは生存権を認める民主的なワイマール憲法が制定された。	第一次世界大戦の惨禍を反省し、1920年に史上初の国際平和維持組織である国際連盟が発足しました。また、ドイツでは1919年にワイマール憲法が制定され、当時の世界で最も民主的とされる内容（男女普通選挙や社会権の規定など）が盛り込まれました。アメリカの独立やアフリカの植民地化開始は大正時代よりも前の出来事であり、国際連合の設立や冷戦は第二次世界大戦後の出来事です。